



特集

世界をリードする市場に ブリヂストン インディア

P.03



こんにちは アローです！
(株)ブリヂストン 代表執行役 副社長
Global CAO・Global CSO

森田 泰博さん

P.10



タイヤでは走破できない路面でも大活躍

ゴムクローラの 魅力に迫る！

P.16



師匠と弟子

ブリヂストンソフトウェア(株) 製品開発システム部 技術システム3課

P.22



わが町・わが職場・わが仲間
佐賀県 (後編)

P.26



ウクライナ留学生インターンシップ

P.12



当世海外事情

ブリヂストン カリマンタン プランテーション

P.24

02 お客様の声

03 特集 世界をリードする市場に ブリヂストン インディア

10 こんにちは アローです！

—— (株)ブリヂストン 代表執行役 副社長
Global CAO・Global CSO 森田 泰博さん

12 ウクライナ留学生インターンシップ

16 タイヤでは走破できない路面でも大活躍 ゴムクローラの魅力に迫る！

22 師匠と弟子

—— ブリヂストンソフトウェア(株)
製品開発システム部
技術システム3課

24 当世海外事情

—— ブリヂストン カリマンタン
プランテーション

26 わが町・わが職場・わが仲間

—— 佐賀県 (後編)

29 Arrow News Clips

31 ありがとうの気持ち 読者プレゼント

32 ブリヂストンのタイヤが 足元を支える 世界のプレステージカー

Voices お客様の声

グループ各社に寄せられたお客様の声を紹介します。
さらにお客様のご期待に応えられるよう、情報源として役立てていただければ幸いです。



お客様の声の全文は
Web版Arrowをご覧ください！

- ❤️ お礼・お褒めの言葉
- ❓ お問い合わせ
- ★ ご意見・ご要望

❤️ お礼・お褒めの言葉

試乗して一発で惚れました

自転車の買い替えを検討していて、エンデュランスロード（長距離・長時間ライド向けのロードバイク）を探していました。いくつか当たりを付けたのですが決めかねていて、「ツール・ド・猪苗代湖」の会場でブリヂストンがブースを出していたので「ANCHOR RE8」を試乗させてもらいました。商品自体は知っていたものの、その時点では候補に入っていなかったのですが、試乗して一発で惚れてしまいました。ブースのスタッフの方々も、質問したことや仕様について丁寧に教えてくれて、購入に当たっての信頼感もありました。試乗した翌週には予約をし、本日もやっと納車されました。実際に乗ると、ペダルを踏めば驚くほどよく進み、よく登り、足に疲れを感じません。荒れた舗装路でも、振動や突き上げを全く感じず快適に乗れました。

私はレースに出ることはなく、週末のロングライドやファンライド、ブルベ[※]で使用するので、本当にぴったりのロードバイクです。これからたくさん乗って楽しみたいと思います。高価な買い物でしたが、買ってよかったと十分に思います。素晴らしいロードバイクをつくってくれてありがとうございます。（男性）

※定められたルートを制限時間内に完走することを目指す、長距離自転車イベント

❤️ お礼・お褒めの言葉

ゲレンデを走れるタイヤなんてすごい！

先週末、苗場スキー場で「ゲレンデタクシー[※]」というイベントが開催されたことを知りました。スタッドレスタイヤはどのように雪道でグリップしているのでしょうか？ スキー場を走れることがすごいです。私は車好きなので、ブリヂストンの取り組みが素晴らしいと思い、うれしくて電話をしました。

（男性）

※「ゲレンデタクシー」とは

株式会社SUBARUが2014年から開催している、SUVでスキー場のゲレンデを走行するイベント。SUVをプロドライバーが運転し、スキー場をリフトに代わって駆け上がり、雪上性能の高さをお客様に体感していただきながらゲレンデ上部まで送り届けるもの。ブリヂストンはスタッドレスタイヤ「BLIZZAK」の提供やブース出展を行い、タイヤの性能をお客様に体感していただきました



ブリヂストンの対応

スタッドレスタイヤは、タイヤの溝によって冰雪路でもグリップできることなどをご説明しました。

❓ お問い合わせ

タイヤの正しい保管方法を知りたい

昨年まで北海道に住んでおり、「BLIZZAK VRX3」を使用していました。今年徳島に引っ越し、周囲からは「スタッドレスタイヤはきっと必要ない」と言われたので、装着はせず保管しておこうと思っています。どのように保管すると長持ちしますか？（徳島県・男性）

御社の新品タイヤを購入しストックしているのですが、保管方法について教えてください。保冷库（15度）に空きスペースがあるので、そこでの保管を考えているのですが問題ないでしょうか？（千葉県・男性）

ブリヂストンの対応

タイヤの保管場所に関しては、下記の点にご注意いただくようご案内しています。

- ・タイヤに直射日光が当たらないこと
- ・タイヤの表面および周囲の温度が高温にならない、風通しの良い場所に置くこと
- ・漏水、雨水によってタイヤが濡れないこと
- ・オゾンを発生させる電気火花の出る装置（モーターやバッテリーなど）が近くにないこと
- ・タイヤを汚す恐れのある油、汚水、粉じんなどがいないこと

ブリヂストンのホームページでも、保管時の注意点をご案内しています。
<https://tire.bridgestone.co.jp/about/maintenance/keeping/>



特集

世界をリードする市場に ブリヂストン インディア

「強いブリヂストン」への進化、「稼ぐ力の強化」を推進し、将来の成長に向けた道筋を切り拓くことで、2026年には「真の次のステージ」へ歩を進めていくブリヂストン。なかでも、成長市場であるインドにおいては、「質を伴った成長」により、これからのブリヂストンをけん引していくことが期待されています。今回は、インドでビジネスを展開するBridgestone India Private Ltd. (BSID) の魅力に迫ります！



BRIDGESTONE EAST CEOより

将来性を秘めた新興国として世界中から注目され続けているインド。ブリヂストンも早くからその可能性に着目し、約30年前に乗用車用タイヤ市場へ参入、その後、2つのタイヤ工場を立ち上げ、ビジネスを展開。現場密着、地産地消をベースに、現地のスタッフとも力を合わせ、強固なビジネス基盤を築いてきました。現在はマーケットリーダーポジションを獲得していますが、安定した経済成長や、国内の自動車保有台数、生産台数の増加を背景に、まだまだ成長できる余地のある市場だと考えています。また、グループ全体の連結売上高に占めるインドの割合は約2%ですが、売り上げ収益は2026年に2023年比で約1.3倍になる見込みです。今後も、「断トツ商品」の強化や、着実なチャネル構築を通じて、「断トツネットワーク」を展開し、「質を伴った成長」を目指します。また、こうした取り組みを通じて、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」で掲げる「Extension 人とモノの移動を止めず、さらにその革新を支えていくこと」、「Ease より安心で心地よいモビリティライフを支えること」にもコミットしていきます。私もBRIDGESTONE EAST CEOとして、この国におけるモビリティ文化およびブリヂストンの発展をリードしていきます。



代表執行役 副社長
BRIDGESTONE EAST CEO
兼 グローバル鉱山・産業・建設・航空タイヤ・ソリューション事業管掌
田村 亘之さん

急成長と 多彩な文化が 織りなす未来

経済成長が加速し、世界が注目するインド。活気溢れる若い労働力が市場をけん引する一方、長い歴史と独自の文化がビジネスにも深く根付いています。インドの成長の原動力と、ビジネスにも影響を与える独自の文化の魅力を探ります！

インド基本情報※1

正式名称	インド共和国
首都	ニューデリー※2 ※2 インド連邦直轄領の1つである「デリー」の呼称も広く一般的に使われていますが、インド政府は「ニューデリー」をインドの首都としております
人口	約14億人
面積	約328万7,000km ²
公用語	ヒンディー語、英語 など
宗教	ヒンドゥー教（約80%）、 イスラム教、キリスト教、 シク教など
通貨	インド・ルピー（INR）
政治体制	共和制

※1 外務省のホームページより

人口は世界一！
面積は日本の9倍、世界第7位！

インドの国旗

国旗の中央にはチャクラ（法輪）と呼ばれる仏教のシンボルがあります。3世紀頃のインドの神殿の柱に飾られていたもので、24本の車軸は1日の24時間、終わりのなき時の流れや宇宙の真理、輪廻転生の思想を表すものとされています。

多言語・多宗教の国

ヒンディー語や英語をはじめとした22の公用語があり、州ごとに異なる言語が話されています。また、ヒンドゥー教を中心に、イスラム教、キリスト教、シク教などさまざまな宗教が共存。日常生活、文化、伝統に大きな影響を与えています。

牛と共存

ヒンドゥー教や仏教などで神聖な動物とされている牛は、街中でもよく見かける存在。道を歩いたり座ったりしている牛を見かけることも多く、牛たちの横断による渋滞もしばしばです。



IT大国としての存在感

20世紀末からIT産業が急成長。数多くのグローバルIT企業のCEOを輩出しています。IT大国として発展した理由にはさまざまなものがありますが、数字に強い国民性や、幅広く英語が普及していること、そして国としてもインド工科大学をはじめとする高等教育機関の設立と強化を進めてきたことが影響したと言われています。特に南部の都市、バンガロールには数多くの外国企業が拠点を置き、「インドのシリコンバレー」と呼ばれています。



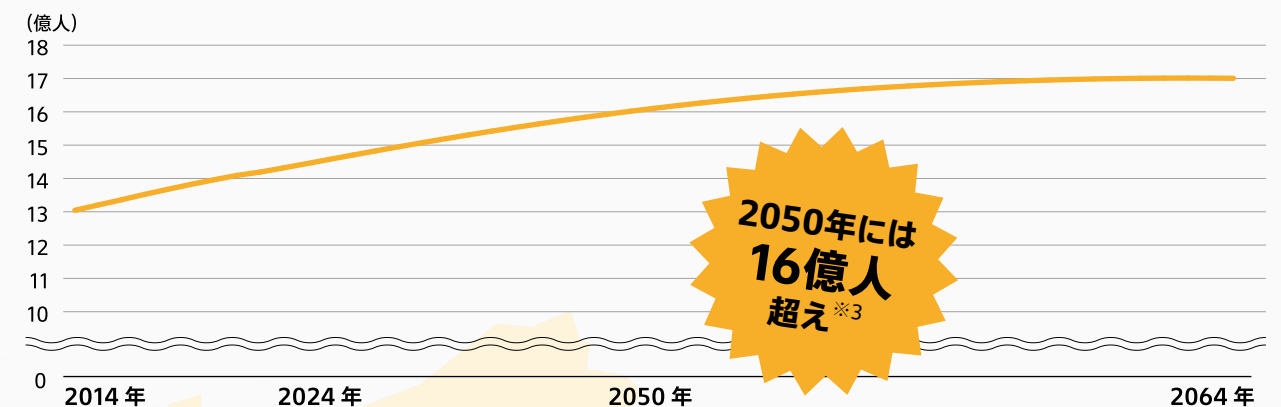
数多くの外国企業が拠点を置く「インドのシリコンバレー」

目覚ましいインドの成長

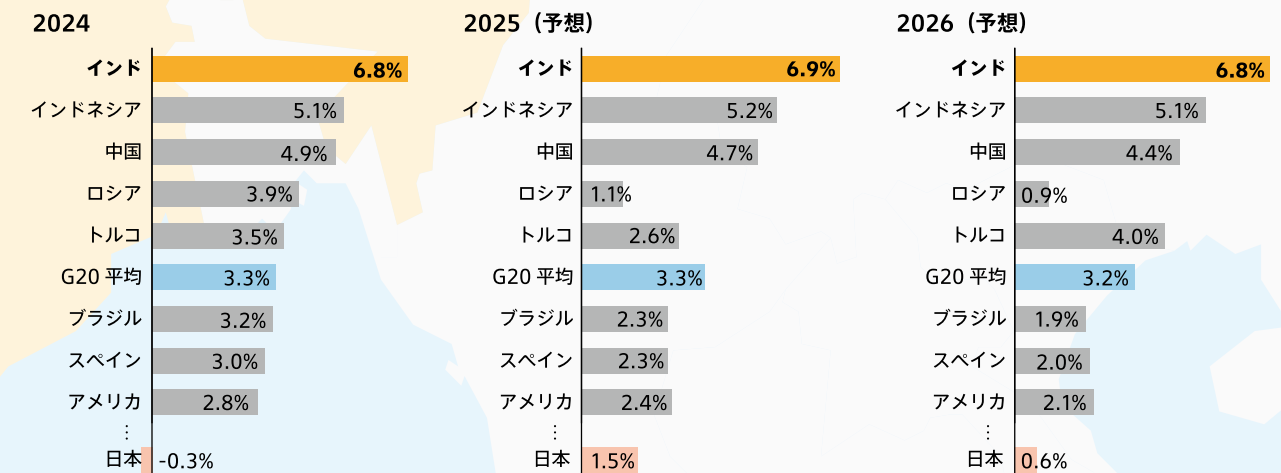
現在でも、世界で第1位の人口を誇るインド。今後も人口は増加し、2050年には16億人を超え※3、消費や生産活動もさらに伸びていくと見込まれています。また、実質GDPにおいても、G20の中でもトップの伸び率をキープ※4しており、着実に世界有数の経済大国への道を歩んでいます。

※3 国際連合の推計による ※4 OECDのEconomic Outlook, Volume 2024 Issue 2より

人口推移



GDP成長率の比較（G20参加国）



出典：OECD Economic Outlook, Volume 2024 Issue 2

モビリティ事情

主要道路の整備が進み、日々、新しい道路が敷設されています。人口増加に伴い自動車の普及率も上昇していますが、全体の保有率はまだまだ伸び代あり！ 今後のビジネスチャンスが期待されます。



急速にモータリゼーションが進展しているインドでは、新しい道路も古い道路も混在しており、また、今後はEVの伸長も見込まれているため、タイヤにはより幅広い性能が求められます。従来から重要視されてきた耐久性や耐摩耗性に加えて、高級車の増加や、高速道路網の発展に伴い、静粛性や乗り心地、低燃費性能、ハンドリング性能なども求められるようになってきています。これらの相反する性能も高次元で両立する「断トツ商品」の提供が重要になっています。

Bridgestone India Private Ltd.
Director, Integrated Consumer Business
Rajiv Sharmaさん



インドで ビジネスを展開する BSID

BSIDの最新トピックや
一緒に働くチームメイトの印象について、
Managing Directorの吉眞さんにお話を伺いました！

Q インドの従業員の皆さんの印象は？

明るくエネルギッシュで、「今日よりも明日は良くなる」と皆さんが信じています。目標に向かってひたむきで一生懸命な姿に、いつもパワーを頂いています。

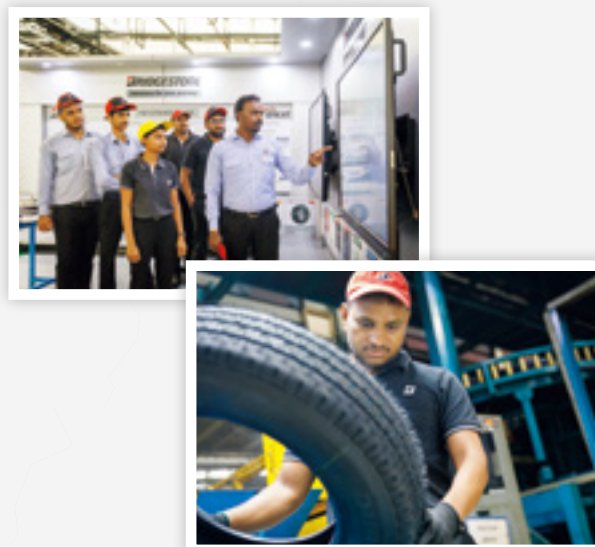
Q インドという国の印象を教えてください。

敷設されたばかりの新しい道路がたくさんありますが、その道から1本それると、まだまだ整備されていない凸凹な路面が残っている、というような光景をしばしば見かけます。新しいものと古いものが併存しているという印象で、国として発展し続けている勢いとともに、古くからの伝統や習慣、価値感を大切にしない文化も感じます。国内車両販売台数は今後20年間で約3倍に増加することが見込まれ、同様にタイヤの需要も増加を見込んでいます。

Q インドにおけるブリヂストンブランドとは？

「壊れにくくて長持ちする」という高い品質を誇るブランドとして認知されています。特に乗用車用タイヤでは、幅広いサイズの商品をラインアップ。さまざまなお客様のニーズに、しっかりと応えることができています。インドのタイヤ市場ではブリヂストンのようなグローバルメーカーと、インド国内のメーカーが競争を繰り広げており、今後も市場は大きくなっていく見込みです。BSIDも生産を拡大していきますが、高いブランド力を活かし、より強固なポジションを築いていきます。

Bridgestone India Private Ltd.
Managing Director
吉眞 弘さん



ブリヂストンは1996年に
インドでビジネスを開始、
今では最も信頼される
ブランドの1つになりました！



インドール工場

操業開始 1998年3月
従業員数 約1,200名 (2024年10月末現在)
生産品目 乗用車ラジアルタイヤ



プネ工場

操業開始 2013年1月
従業員数 約1,400名 (2024年10月末現在)
生産品目 乗用車・小型トラック用および
トラック・バス用ラジアルタイヤ



ブリヂストン インディア プライベート リミテッド (Bridgestone India Private Ltd.)

設立 1996年2月
従業員数 約3,100名 (2024年10月末現在)



Hot Topics!!

「TURANZA 6i」の上市

2024年4月に「TURANZA 6i」を上市し、プレミアムタイヤのビジネスに本格参入しました。「TURANZA 6」のインド版として販売開始し、14インチから20インチまで36サイズをラインアップ。商品設計基盤技術ENLITEN®を搭載することで、当社の従来の強みである、インド国内のさまざまな道路事情に対応する耐久性や耐摩耗性に加え、新たなニーズである静粛性や快適な乗り心地を両立。そして優れた低燃費性能も実現することで、市場に新しい価値を提供しました。



プレミアムタイヤビジネスの拡大

新車販売におけるSUV比率が6割になるなど大きな乗用車が増えているインドでは、高インチタイヤ（以下、HRD）の需要も今後10年で約3倍の増加が見込まれています。その需要に応えるべく2024年には、HRDのラインアップを拡充。また、当社とディーラー網の連携では、インドの強みの1つであるデジタル技術を駆使して各取引の効率化や見える化を進め、お客様が求めるタイヤがその場になくとも2時間以内でお届けできる「Express Delivery Service」などによりインド全土における充足率98.8%を実現。さらには、日本国内で提供されている100km点検を、インド国内のタイヤブランドでは初めて導入するなど、バリューチェーン全体で、当社のプレミアムタイヤビジネスの価値伝達を強化しています。



可能性に溢れるマーケットで、
引き続き「質を伴った成長」を継続させ、
インドのモビリティの発展を、
足元から支えていきます。



BSIDのこれまでとこれから

BSIDでのビジネスに長年携わった
これまでの歩みや今後の展望に

てきたUdayさんとRajivさん。
ついて語っていただきました。

インドと共に成長してきたBSID

Uday ブリヂストンがインドでビジネスを始めた1996年に、私もBSIDでのキャリアをスタートしました。インドール工場の立ち上げや、最初の1本目となるタイヤの生産にも関わりました。それからおよそ30年、本当にさまざまなことがありました。今では人生の大半をBSIDと過ごしてきたことに誇りを持っています。

Rajiv 私はBSIDで1997年から働き始めました。そこから今に至るまで、インドという国は大きく変わり、経済は著しく成長しました。ITを中心に急速に発展し、今や世界でも大きな存在感を放つ国に。また私が入社した90年代半ばから、海外から多くの完成車メーカーが参入し、タイヤ市場も大きく成長しましたね。

Uday 1990年代後半、BSIDのビジネスが始まって間もない頃は、取引先はカーメーカー中心でした。それから少しずつ商品の性能や耐久性が認められ、また、インド国内でラジアルタイヤの普及が急激に進んだことも追い風となり、今では市販用タイヤ市場でも抜群の知名度を誇るブランドに。ただ、現状に満足することなく、モビリティ産業の発展や、サステナビリティへのさらなる貢献を目指しています。



Uday Wadgeさん
Bridgestone India Private Ltd.
Director, Indore Manufacturing Operation

Rajiv インドのような成長市場で、常に先を読んでビジネスを進めてきたことが功を奏したと思っています。新車向けのタイヤ製造に注力したことで、主要なカーメーカーと信頼関係を築くことができましたし、販売網を拡大したことで、お客様に寄り添った、良いサービスを提供できるようになりました。それに加えて、2013年のプネ工場立ち上げにより、国内需要に応える生産体制を確立。これらの成果が積み重なって、インドではマーケットリーダーポジションの地位を固めることができました。

Uday BSIDで働く従業員も我々の大きな強みです。勤勉で才能豊かな従業員たちに会社は支えられていますが、一人ひとりの成長やキャリアを尊重しつつ多様性を受け入れる文化が会社の成長を後押ししています。

Rajiv Udayさんの言うとおり、一人ひとりの働き方を重んじる文化や多様性を尊重する会社になりましたよね。製造や販売の成果を優先する時代もありましたが、今ではよりお客様や従業員のことを第一に考える、そんな会社に進化したと思います。

これからも「断トツ」の商品を社会に提供し続ける

Uday インドール工場長として、これからも仲間たちが身体的にも心理的にも、安全に働くことのできる職場づくりを最優先にしていきます。従業員が自分の意見を大切にし、仲間のためにベストを尽くすことができる。そういう職場から、「断トツ」の商品は生まれると思います。また利益を出すだけでなく、世の人々の今や未来の生活を支えていくことに、これからも貢献していきたいです。



Rajiv 品質へのこだわり、グローバルの仲間たちと知識を共有できる環境、家庭のような温かい職場風土。これら3つが私の考えるBSIDの特徴であり、私がいつも誇りに思っている強みです。これらを大切に、アイデアや知識を仲間たちと共有しながら、「断トツ」の商品を社会に提供していく。そして、仕事だけでなく、プライベートでも周りの人々を助けていく。これからも「最高の品質で社会に貢献」し続けていきたいですね。



BSAPIC管掌
BSAPIC Member of the Board
兼 Group President
Agustin Pedroniさん

BSAPICだけでなく、グローバルでもブリヂストンをリードする国に

インドの将来性に早くから着目していたブリヂストンは、1996年からこの国でビジネスをスタートしました。その後、長きにわたって事業を続けてきたBSIDには、3つの大きな強みがあると考えています。

1つ目は、高いブランド力です。インドで事業を続けてきた約30年間、ブリヂストンはお客様に寄り添い、また、さまざまなニーズに応え続けてきました。今では高い品質を誇るブランドとして、乗用車用タイヤ市場において、確固たる地位を築き、多くの方に幅広く認知されています。

2つ目は、強固な地産地消体制です。インドではタイヤ輸入のハードルが高いため、プネとインドールに高い生産能力を持つBSIDは、大きなアドバンテージを有しています。プレミアムタイヤやEVタイヤの需要の高まりなど、需要動向に合わせて迅速な生産対応が行える他、物流面においてもコスト競争力が維持できます。これらの工場でつくられた高品質なタイヤをお客様にお届けするための物流体制や、販売チャンネルにも強みがあります。

3つ目は、サステナビリティへの貢献です。BSIDでは、CO₂の削減やサーキュラーエコノミーにも注力しており、ビジネスで発展を続けるだけでなく、社会価値も提供し続けてきました。

これからもこの3つの強みはBSIDを成長させる大きな原動力になるはずで

昨年11月に、プネ工場とインドール工場の生産能力を増強するために、約119億円の戦略的投資を決定するなど、マーケットリーダーポジションをさらに強固なものにする取り組みが進んでいます。グローバルの中でもブリヂストンをリードする存在になる、BSIDにはそんな明るい未来を描いています。



大切なのは、 認め合い、 成長につなげる姿勢

Hello!



今回は (株) ブリヂストン 副社長の森田さんにお話を伺います。「こんにちは森田さん、今日はよろしくお願いします!」

(株) ブリヂストン
代表執行役 副社長 Global CAO (Chief Administration Officer)・
Global CSO (Chief Strategy Officer)

もりた やすひろ
森田 泰博さん

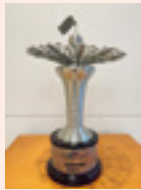
愛知県出身。1996年に入社し、海外部門(当時)に配属、アジアや欧州を中心に20年以上にわたる海外駐在を経験。2024年 常務役員 BSAPIC Group Presidentを経て2025年1月から現職。

Information

幼少時代の将来の夢

Formula 1®レーサー

子どもの頃からレースが好きでよくテレビで見えていました。大学では自動車部に所属し、ジムカーナやラリー競技に参戦していました。マレーシア駐在時にはBridgestone Tyre Sales (Malaysia) Sdn. Bhd. (BSTM) メンバーと耐久レースに参戦し優勝したこともあります。



マレーシア駐在時に参加した耐久レースの優勝トロフィー

愛用しているブリヂストン商品

「241CB アイアン」

ゴルフは長年続けています。スコアは良くなりませんが、自然豊かなゴルフ場で仲間とワイワイ話をしながらコースを回るのは至福の時間です。ブリヂストンスポーツの皆さん、いつもカッコいいクラブをつくっていただき、ありがとうございます。

ブリヂストンに入社して驚いたこと

どの国でも「最高の品質で社会に貢献」

私自身も入社当初から大切にしていますが、海外のどの事業所に行っても「最高の品質で社会に貢献 (Serving Society with Superior Quality)」に従業員が言えることに驚きました。創業者の想いや私たちがビジネスを通じて果たすべき使命が、世界中のブリヂストンで浸透していることは本当に素晴らしいと感じます。

2. お仕事で愛用している品を 教えてください。

入社以来、どの国に赴任しても常に持ち歩いているのが、「工場実習ファイル」です。1996年入社直後の新入社員研修で使用していたもので、東京工場(当時)の加硫係での実習内容が記録してあります。



受け入れ先の主任さん、課長さんに業務内容や気づいたことを毎日提出するのですが、お忙しいなか、たくさん赤ペンで書いていただいたアドバイスは、どれも「ブリヂストンが大事にしていること」が伝わってくる言葉ばかりです。このファイルを見ると、いつでも初心に帰ることができるので大切にしています。

2. 今までのキャリアにおいて、 印象に残っている「失敗」の エピソードについて教えてください。

「工場実習ファイル」に書いてあるものなのですが、TPM (Total Productive Maintenance) 活動で加硫機の清掃を行っていた際、誤って操作盤に触れてしまいました。未加硫の状態で釜が開きスクラップを出してしまったのです。入社後、最初の大きな失敗ですのでよく覚えていますが、慣れない夜勤の疲れや経験の浅さなど自分なりの反省を

日報に記しました。すると課長さんから赤ペンで「あーだ、こうだと失敗を素直に書き出して反省しているのは良しとすべし!」「ただし、これが物だから良かったが自分の身体をぶつけてケガしたとかだったらどうする! 社会人となった以上ケガは許されん」というコメント。意気消沈している私への思いやりの深さ、失敗はあるがPDCAをしっかりと回すこと、そして「安全はすべてに優先する」ことなど、たくさんのことを教えてくれた主任さんや課長さんには今でも感謝しています。

2. ご自身の人生における ターニングポイントを教えてください。

フランスの販売会社に赴任していた2010年頃、欧州本社からの指示と販売現場での実態との間で板挟みとなることがあり、派遣者としてどちらの意向を尊重すべきか、私の果たすべき役割は何なのか、思い悩む日々が続いていました。

そんなある時、ブリヂストン第1号タイヤの写真を使った販促用のポストカードが手元に届きました。この方々がご苦勞をされて第1号タイヤをつくってくださったおかげで今日がある訳なので、この方々に聞いてみよう写真を眺めていると、ある答えに導かれたのです。聞こえてくる声は、「『最高の品質で社会に貢献』するために一番正しい選択をしてほしい、それが我々の願いだ」と。この写真と共に苦しい時期を乗り越えたフランスでの日々は会社人生の中のターニングポイントで、すし、個人としても社会に貢献するということの大切さをより強く意識するきっかけとなりました。



2. 長年、海外で活躍され、 これまでのご経験から学んだこと・ 大切にしていることを教えてください。

“You can do what I cannot do. I can do what you cannot do. Together we can do great things!”という私の好きな言葉があります。「私にはできないがあなたができることがあります。私にできてあなたにはできないこともあります。だから一緒に協力すれば素晴らしいことができますね!」といった意味です。

2000年頃、初めての海外駐在の準備の一環で、タイヤ館の店長訓練にオブザーバーとして参加させていただく機会がありました。新人店長さんが集まって近所のタイヤ館を視察し、感じたことを発表しました。その店の粗探しのようなコメントをされた受講生に対して、講師の方が「自分の店より悪いところなど誰でも見つけられる! 自分の店より優れているところを探し、認め、そして持ち帰る努力をなさい!」と厳

しい口調で叱ったのです。相手よりも自分が優れていることを探して優位に立とうとするのではなく、相手の良いところを探し出し、自分との補完関係を見出す。共に協力して成長につながることを考えるようにと、熱意をもって指導されていました。ブリヂストンFVS (現在のブリヂストンリテールジャパン) の小売りのノウハウを学ぶことが目的でしたが、この後の7カ国にわたる私の海外駐在を支えてくれる大切な「心の持ち方」を得ることができました。

おかげで、どの国で働いても「日本人にあるアレがない」ではなく「日本人にないコレがある」と考えられるようになりました。各地のブリヂストンの仲間とお互いの良い部分を認め合って信頼関係を構築し、共に協力して「最高の品質で社会に貢献^{まいしん}」に邁進することができました。



もちろん誠実に仕事に取り組む姿勢があることが前提ですが、周りの方々にあるものと自分にはないものを合わせ大きな力にすること。“You or Me”ではなく“You and Me”という関係を私は大切にしています。

2. 最後に従業員の皆さんへの メッセージをお願いします。

2024年度の業績は対前年で増収増益を確保しましたが、調整後営業利益率、ROIC、ROEといった「稼ぐ力」や資本効率が2021年以降低下しています。また、中国EV攻勢などによる自動車業界の構造変化や、廉価輸入タイヤの増加などによるタイヤ業界の構造変化の加速が「新たな脅威」となっています。こうした厳しい事業環境において、2025年は「緊急危機対策年」と位置づけ、質を伴った成長に向けて、「守り」の活動を最優先に、「攻め」の活動で将来への布石を打っていきます。

このような難局に際し、私は常に「活力に溢れるチーム」を意識して、皆さんと共にチャレンジしていきたいと思っています。個人の活力、組織の活力が高ければ、生産性も高まり、想像力も豊かになり、必ずビジネスに好循環を生み出すと信じています。

常に安全第一、健康第一を忘れず、みんなで一致団結して今年の目標を達成し、「真の次のステージ」へと歩を進めていきましょう。



ウクライナ留学生 インターンシップ

ブリヂストンは、創業の地久留米近隣の日本経済大学が実施する「ウクライナ避難民学生支援プログラム」に賛同し、人道支援と就業経験の機会提供を目的に、インターンシップを実施しています。

4年目となった今年は、2月3日～2月14日までの2週間にわたって計7人の留学生在（株）ブリヂストンのさまざまな部署でインターンシップに参加しました。

この活動は、「Bridgestone E8 Commitment」で掲げる「Empowerment すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりにコミットする。」にコミットしています。



インターンシップを通じた社会貢献



(株)ブリヂストン
日本セグメント
社会貢献活動推進課
久富 龍次郎さん

ブリヂストンにとってこの人道支援は、久留米近隣の大学との信頼関係醸成と、従業員たちの学び・気づきの機会になっています。

これまで学生を受け入れていただいた部署の方々からは、「自分たちの仕事の価値・重要性を改めて認識する良い機会となった」「業務に対する『誇り』や『やりがい』の再認識につながった」「チーム・部門の一体感醸成、チーム全体の活性化につながった」「前向きに一生懸命頑張っている姿に、チーム全員が勇気・元気をもらった」などたくさんのポジティブな感想を頂いており、私たちにとってもたくさんの学びが得られていると実感しています。

また、学生からは、インターンシップでの就業経験を通じて、より実践的な日本語に触れられることで、これまで以上に語学力に自信を持つことができ、日本の企業への就職を決意したとの声を頂いています。実際にこれまでの3年間で参加した22人のうち、日本の企業への就職を希望していた18人全員が内定をもらっており、日本経済大学からもこのプログラムの教育的効果は絶大との評価を受けています。

今後も幅広い部署の皆さんに受け入れを通じた学びを得てもらいたいと考えています。

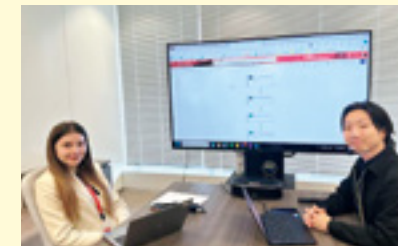
「現物現場」で 業務を体験

インターン生はそれぞれ異なる部署に配属され、実際の業務に携わる就業経験と日本の企業で働く経験を積みました。インターンシップ期間中に取り組んだ業務内容を、受け入れ部署の皆さんに教えていただきました！

ITトランスフォーメーション部門 クラウド基盤課

受け入れ部署より

業務ユーザーからの申請に基づいてデータのダウンロード権限を自動で与えるシステム開発を行いました。ソフィアさんが作ったシステムはクラウド基盤課で引き継ぎ、デジタル部門と協力して活用していく予定です。



ソフィア ヴァウルクさん

経営監査部 監査管理課

受け入れ部署より

「内部監査の役割は何か、なぜ会社に必要なのか」をテーマとし、部門内の各機能の活動内容を理解し、内部監査について学んでもらいました。他にも監査委員会での自己紹介、工場見学などを通して、ブリヂストンへの理解も深めてもらいました。



マルタ マルティンさん

リサイクル事業準備室 リサイクル事業準備課

受け入れ部署より

環境意識が高く「リサイクル」に興味を持ち、ブリヂストンのリサイクル活動の訴求方法を考え、どうすれば他者からの共感を得られるかを考えてくれました。最後にはタイヤリサイクルをまだ知らない人でも楽しみながら学べるようクイズ形式の訴求方法を発案していただきました。頂いた意見やクイズは今後のリサイクル訴求活動に活かしていきます！

また、精密熱分解ベンチ機見学では積極的に質問、タイヤ館見学ではタイヤの保管場所見学を自らリクエストするなど、強い探求心を持ってインターンシップに臨んでくれました。



アナスタシア キリッロヴァさん

宣伝・イベント・モータースポーツ推進部

受け入れ部署より

ブリチストンの宣伝に関わる外部委託先を訪問し、広告代理店の(株)電通ではマーケティングについて、(株)テレビ東京ではテレビのマスメディアとしての強みを学びました。

また最近のコミュニケーションツールであるXへの投稿も実施。「ユーザーとの相互コミュニケーション」という方針のもと、トピック決めから文章作成まで一連の作業に取り組んでいただきました。反応を促す一文や答えたい質問など、内容を工夫することで、過去の同様の投稿よりも多くのコメントを得ることができました。



カテリナ キエンコさん

BSJP タイヤ販売企画・事業管理部門 BSJPデジタル改革推進課

受け入れ部署より

Excel関数とRPA(自動化ツール)を活用し、ブリチストンタイヤソリューションジャパン(株)のある部署の集計業務の効率化に取り組みました。RPAについての勉強や部署へのヒアリングを経て、データ集計から担当者に届く完了通知までの一連プロセスを自動化しました。人手で40～60分かかっていた作業をRPA化により5分に短縮することができ、業務効率化に大きく貢献しました。自動化したRPAは今年3月から実際に使用されています。



ソフィア コズロヴァさん

調達戦略企画部 戦略企画課

受け入れ部署より

「天然ガスの直近の動向と分析」を課題として取り組んでいただきました。疑問に思ったことをためらわずに質問する姿勢があり、今まで着眼していなかった視点での質問をたくさんしてくれて、私たちも新たな気づきをたくさん得ることができました。彼自身が分析を通じて自立的に見出した課題は、マネジメント報告資料でも活用させていただきました。



ボゴダル クハリエンコさん

グローバル広報部門 社内広報課

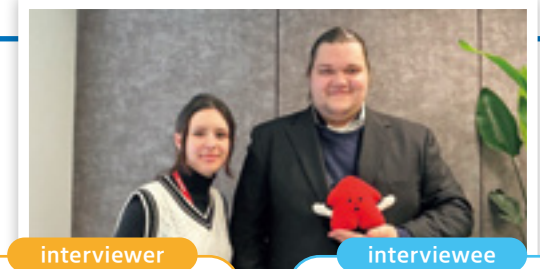
受け入れ部署より

社内広報課で発行しているArrow制作に携わり、同じ留学生のボゴダルさんにインタビューをしていただきました。インタビューのために必要な段取りを学び、事前の取材調整から質問の作成、原稿執筆まで1人で行ってもらいました。

ソフィア コロソヴァさん

社内広報課 ソフィアさん 初めてのインタビュー！

社内広報課に配属されたソフィア コロソヴァさん。調達戦略企画部に配属されたボゴダル クハリエンコさんに今回のインターンシップについてインタビューし、日本語で原稿を作成しました！



interviewer
ソフィア コロソヴァさん

interviewee
ボゴダル クハリエンコさん

ソフィアさん ブリチストンのインターンシップについて、昨年経験した先輩に何か質問しましたか？

ボゴダルさん はい、ブリチストンについては素晴らしいことばかり聞きましたが、皆さん、この経験が非常に価値あるものだったと言っていました。

ソフィアさん なぜ調達戦略企画部を希望しましたか？

ボゴダルさん 戦略や企画に興味がありました。良い企画が立てられたら業務改善につながってチームに貢献できると思い希望しました。

ソフィアさん どのような業務に取り組んでいますか？

ボゴダルさん 調達戦略企画部は原材料調達に関わっています。ここではさまざまな原材料の保管方法を学び、天然ガスの

市場分析を行いました。難しい単語や専門的な内容が多いですが、100%理解できなくても、単語を調べながら、少しずつ理解することができました。



ソフィアさん インターンシップで最も驚いたこと・難しかったことは何ですか？

ボゴダルさん 日本の会社で働くのは本当に大変だと思っていましたが、実際に働いてみると、皆さんとても親切で、何でも教えてくれるのでうれしかったです。最も難しかったのは、原材料への理解や市場動向を調査することでした。100%理解することができなくても、興味深いと感じることができるのは素晴らしいことです。

ソフィアさん 将来的にこの分野で働きたいと思いますか？

ボゴダルさん 大学卒業後は日本で働きたいと思っていますが、このような調達分野で働けたら素晴らしいと思っています。

ソフィアさん 大学で学んだ知識はこのインターンシップで活かれましたか？

ボゴダルさん 私は人生の中で経済や政治など多くを学んできました。そしてこれらの理解が、インターンシップで取り組んだ、市場の傾向やさまざまな商品の価格に影響を与える要因などを分析する際に確かに役立ちました。今回のインターンシップは、将来の仕事の役に立つ、素晴らしい経験を積むことができたと思っています。

初めてインタビュアーとして取材し、ボゴダルさんは日本に来る前からの友達であったにもかかわらず、やはり緊張しました。この経験を通して、一歩踏み出して何か新しいことを学ぶ大切さを改めて実感し、視野を広げる貴重な機会となりました。



タイヤでは走破できない路面でも大活躍

ゴムクローラの 魅力に迫る！

ブリヂストンの化工品事業の中で油圧ホースに次ぐ規模を誇るゴムクローラ。
実はブリヂストンが世界で初めて製造した製品なんです。
今回は、農業機械や建設機械に装着され、タイヤでは走破できない路面でも
大活躍するゴムクローラの事業とその魅力について取材しました！

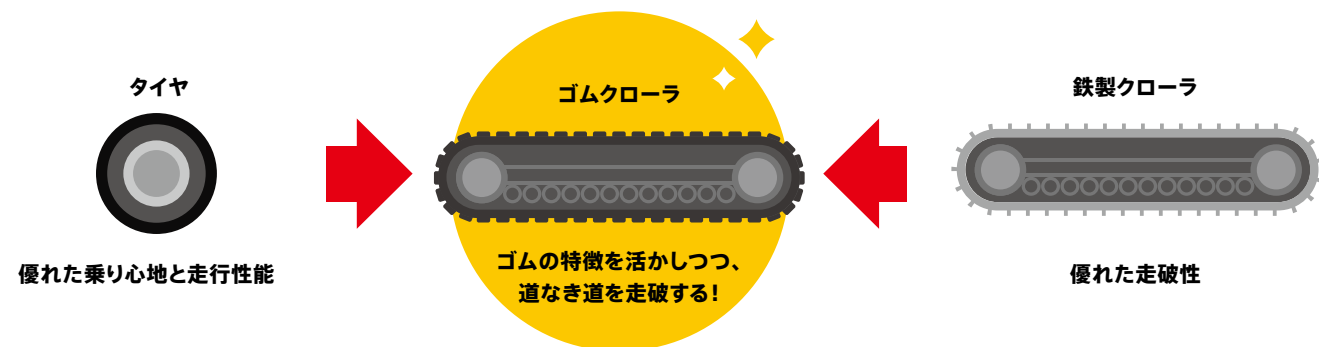


ゴムクローラとはどんな製品？

クローラとは重機の移動を支えるベルト状の装置のこと。鋼板などを帯状につなぎ、車輪の周りに取り付けただのもので、トラックベルトや履帯とも呼ばれます。1968年に、ブリヂストンが世界で初めて、他社と共同で、稲や麦などの穀物を収穫する機械であるコンバイン用のゴム製クローラを開発しました。その後、建設機械のミニショベルや小型ブルドーザーなどに用途が広がり、足回りに対するお客様の困りごとを解決しながら、発展を続けてきました。

ゴムクローラの特徴

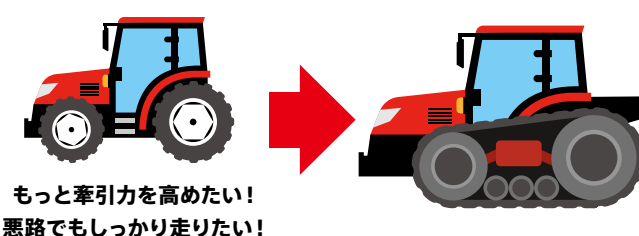
タイヤと鉄製クローラの良い所を合わせたような製品で、路面保護性にも優れるゴムクローラ。
農業機械や建設機械、特殊運搬車向けの用途でニーズがあります。



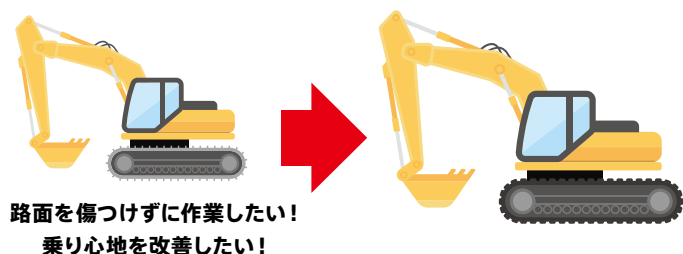
タイヤ、鉄製クローラからゴムクローラへの派生

以下のように、タイヤから派生、もしくは鉄製クローラから派生したゴムクローラ機がたくさんあります。
そしてこれらのゴムクローラ機の多くが、ブリヂストンと機械メーカー様との共同開発によって世に出されたものです。

タイヤからゴムクローラへ（トラクターの例）



鉄製クローラからゴムクローラへ（ミニショベルの例）



ブリヂストンのゴムクローラ事業

「断トツ」の信頼を誇るブリヂストンのゴムクローラ

◆世界中から支持される圧倒的ブランド力

世界中の農機、建機メーカーのお客様が「採用したい!」と口を揃えるほどの確固たるブランド力を誇るのがブリヂストンのゴムクローラです。タイヤ開発で培ったゴムやスチールコードへの深い知見、半世紀以上にわたってお客様のニーズに応え続け、高めてきた技術力、製品の品質と安定性がお客様の圧倒的な支持につながっています。

現在、ゴムクローラの売上比率は国内が6割で海外が4割程度。国内向けはミニショベルやコンバインに使用されることが多いですが、海外ではミニショベルや小型で小回りの利く汎用建機のコンパクトトラックローダー、大型トラクター向けが中心です。海外向けにはリプレイス品も取り扱っています。

◆稼働を止めない、サステナブルな製品を

ゴムクローラは、タイヤでは走破できない悪路で使われることが多く、最も求められる性能は丈夫で長持ちすること。例えば、田んぼの中でゴムクローラが故障してしまうと、トラックで交換品を運んでくるなど、修理や交換に多大な労力と時間が必要になります。また、機械の大型化に伴うサイズアップと同時に、運搬時の負担軽減の観点から軽量化も求められています。

農業・建設業のお困りごとを解決する商材

田畑で使われるコンバインなどの農業機械や、都市の工事現場で欠かせない小型建設機械の足回りには、ブリヂストンのゴムクローラが多く使われています。お客様からの、作業を効率化させたい、燃費を下げたいといったニーズにマッチする製品を開発、販売し続けてきたことが今日の風景につながっています。農業や建設業に貢献できている実感があります。

油圧ホースや樹脂配管がそうであるように、ゴムクローラも世の中になくはない製品で、お客様の困りごとを解決する商材です。ブリヂストンは、リーディングカンパニーとして社会や人々の暮らしを支える商材を取り扱っています。皆さんにも知っていただけたらうれしいですね。

ブリヂストンでは、熊本をマザー工場として、中国、ポーランドの3拠点でゴムクローラを製造しています。ゴムを精練して押し出し、成型して加硫する流れは、タイヤの製造プロセスとよく似ています。大きな違いは、加硫工程の前に、機体を支える芯金という部品を入れる工程があることです。

また、ゴムの材質は、使われる路面や走行速度など、用途に応じて、亀裂に強いゴム、摩耗に強いゴムを使い分けて配合しています。

◆今後の目標とその先に向けて

まず、プレミアム領域に特化して、グローバルNo.1の揺るぎない座を維持し続けることが目標です。都市土木やインフラ整備は市場の景気に連動するため、今後の市場動向は決して楽観視できませんが、業績面では、2026年にROIC10%を達成することを目指しています。

最近では、コンパクトトラックローダー向けの駆動ロスが小さい商品の拡販を図っています。タイヤが転がり抵抗を減らすように、クローラも駆動する際のエネルギーロスを減らすことで、燃費向上に貢献することができます。

また、海外の大型農機トラクター向けの製品として、振動が少なく走行性能が高い、芯金レスタイプのゴムクローラを重点製品として、生産能力拡大を目指しています。

脈々と受け継がれてきたモノづくりを次の世代に

配属以来、タイヤや鉄製クローラでは実現できないことをゴムクローラの足回りで実現することで、お客様に価値を提供できる魅力的な仕事に携わっていると実感しています。ブリヂストンが世界で初めてゴムクローラを開発してから今に至るまで、事業の進化と拡大は脈々と続いており、私自身も次の世代に引き継ぐ責任を持っていることに誇りを感じています。また、仕事の中で判断に迷ったり、苦戦したときは、「ブリヂストンのクローラがお客様に新しい価値を提供できるか」といったことを心の拠り所にしています。

ゴムクローラは、ブリヂストンだからこそ実現できる価値を持つ事業で、これからも新しい付加価値を提供することで社会に貢献できると信じています。これからもバリバリ売っていきます！

(株)ブリヂストン
産業ソリューション事業企画部
ゴムクローラ事業企画課長

池田 孝之さん



(株)ブリヂストン
海外クローラソリューション事業部
海外クローラ企画課長

高橋 幸太郎さん

ゴムクローラができるまで 熊本工場の製造現場に潜入！

熊本工場のゴムクローラの製造工程を見せていただきました！

部材を作る／ゴム

1 精練工程

ゴムの原材料をバンバリーで混ぜ合わせます。

2 圧延工程

練られたゴムを必要な厚さの板状に圧延します。

3 ゴム成型工程

以下の3種類のゴムを成型します。

キャップゴム（ラグ側ゴム）
クローラの外側で、路面と接するゴム。タイヤのトレッドのような位置づけ。



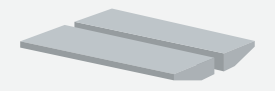
中間ゴム

キャップゴムと芯金の間に組み込まれるゴム。スチールコードと接着され、クローラの強度を高める。



金具下ゴム（転輪側ゴム）

クローラの内側で、機体の転輪と接するゴム。



ゴムの部材。ここまでの工程はほぼタイヤと同じです

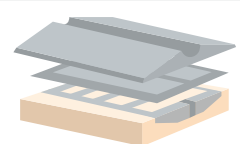
部材を作る／芯金

金属メーカーで製造した芯金に対して、ゴムとの接着力を高めるためにゴミや油、錆を除去するブラスト処理を施します。その後、接着剤を塗布して組込工程へ。



4 組込

金具下ゴムに芯金を置いた後、スチールコードと中間ゴムを組み合わせたものをセットし、その上にキャップゴムのセットします。



置く場所を示す治具に沿って芯金をセット



治具を外した後、その他の部材をセット

5 加硫

加硫前に輪の形状をつくり、その後で全体を加硫するSCS（Spiral Cure System）式。一方で、シート状のまま加硫した後に輪をつくり、貼り合わせた部分だけを再度加硫して製造されるエンドレス式の2種類があります。SCS式は接合部がない分、耐久性が高いというメリットがあり、エンドレス式はさまざまな長さや幅の製造に対応しやすいという特長があります。



こちらはSCS式。輪の形状になったものを1～2時間加硫する



SCS式は1度目の加硫後、向きを変えて再度加硫する

6 検査して出荷を待つ



製造工程の皆さんから

熊本工場でゴムクローラの製造に携わっているのは、約330人。4班3交替制で24時間稼働しています。

後工程を考えた正確で丁寧な作業を

大型のクローラの金型交換や成型、加硫などをはじめとする一連の工程を担当しています。チームとしてモノづくりを進め、反省点や改善点が共有しやすい職場づくりを意識しています。

ゴムクローラは、製造サイズや芯金の種類など、似通っていても違うものが多く、その組み合わせの数は数千種類にも及びます。頭も身体も使う作業で大変ですが、徹底した確認作業でミスを防ぐこと、また、次の工程のことも考えた丁寧な仕事を心掛けています。

今の担当になってまだ日は浅いですが、それぞれの業務内容について理解を深め、仕事の質が上がったと実感できた時にやりがいを感じます。今後も改善力を高め、製品の品質向上にもつなげていきます。



（株）ブリヂストン 熊本工場
製造第2課 第1クローラ係
前田 竜也さん

高品質なクローラをつくり、社会を支えることに誇りを感じる

職長として、エンドレス式クローラの製造全般を担当しています。

製品の品質に直結する作業として特に気を付けていることの1つが、前工程の金具処理です。入荷した芯金に対して、ブラスト処理と塗装をすることで、ゴムとの接着性や防錆性を高めることが、製品の品質に直結します。

工事現場や農地で活躍する重機を見ると、つい足回りを確認してしまうとともに、社会を支える仕事に携わっていることを誇りに思います。今後も品質にこだわり、良いゴムクローラを生産していきます。



（株）ブリヂストン 熊本工場
製造第2課 第2クローラ係
職長
東田 栄司さん

安心・安全の徹底とコミュニケーション

SCS式のクローラ製造における、金型交換業務などを主に担当しています。ゴムクローラの製造は、押出や加硫など手作業が多く、細心の注意を払わないと、製品の品質にムラが出てしまいます。例えば、ゴムを重ねていく段階で、土台を組み込む位置が少しでもずれると品質不良が生じてしまいます。このような、製造プロセスの注意点を、密なコミュニケーションを通じて、仲間同士でスムーズに共有できる職場を目指しています。また、後工程の仲間が無理なく作業を進められるようにする気遣いや、安心・安全を第一にした姿勢も意識しています。

お客様に最高の品質のものを届けること。これを常に考えて工程管理を行い、製品であるゴムクローラや、ブリヂストンへの信頼を獲得していきたいと思っています。



（株）ブリヂストン 熊本工場
製造第2課 第2クローラ係
東 良人さん

お客様から信頼されるブリヂストンのゴムクローラ

農業機械や建設機械の足回りを支えるゴムクローラ。

長年にわたって採用いただいている、クボタ様のグローバル技術研究所を訪問し、開発と調達のご担当者にお話を伺いました！

お話を伺った皆さん



(株)クボタ
機械事業本部 作業機事業部
収穫機技術部
宮城 稔さん



(株)クボタ
機械事業本部 作業機事業部
収穫機技術部
種市 遥香さん



(株)クボタ
建設機械事業部 建設機械技術第二部
設計室 本機第一チーム
秦 弘之さん



(株)クボタ
調達本部
機能品調達部 購買第二課
名手 優綺さん

開発に寄り添う姿勢に共感

——御社のどのような製品にブリヂストンのゴムクローラを採用いただいていますか？

名手 農業機械や建設機械の多くの機種にブリヂストンのゴムクローラを採用しています。農業機械では、主に大型の自脱型コンバインといわれる収穫・脱穀・選別の作業を1台で行う機械に採用しています。建設機械では、車両重量6トン未満の油圧ショベルの一種であるミニバックホーや、前方にバケットやさまざまなアタッチメントを装着することで、掘削や運搬、伐採、清掃といった作業が可能になる小型の建設機械CTL (Compact Track Loader) に採用しています。

宮城 国内向けのコンバインは高齢化や作

地面積の減少に伴い台数は年々減ってきていますが、農地集約のニーズを受けて大型化が進んでいることから、当社にとっては引き続き重要な市場です。

種市 20年前、「ER108」という大型コンバインを開発した際、ブリヂストンの開発担当者にもご協力いただき、当社の試験場で一緒に開発に取り組みました。それまでにない低振動性と耐久性を追求した新機軸のゴムクローラと一緒に開発し、それ以降、国内向けの大型コンバインのものはずっとブリヂストン製ですね。

秦 建設機械のミニバックホーやCTLではブリヂストン製のゴムクローラを多く採用しており、特に近年、北米市場で伸びているCTLは3機種中2機種がブリヂストン製のもです。

圧倒的なブランド力も強み

——ゴムクローラを装着するメリットや求める性能について教えてください。

秦 CTLは汎用性の高い機械であり、建設や造園などさまざまな用途で用いられるため、それらの現場に対応できるゴムクローラが使われています。近年当社では、限られたエンジン出力を、作業に有効に使うため、屈曲抵抗[※]の低いゴムクローラを採用しています。静音性でもゴム製は優れていますね。

※クローラ回転時に、クローラの内側に接している車輪に沿って曲がる際に発生する抵抗

宮城 農機市場としては、馬力などの性能は現行で十分という声も多いですが、耐久性や湿田走破性などの性能アップに、ゴムクローラも足元から貢献してくれることを期待しています。

種市 振動低減も重要です。長時間機械を稼働させる場合、振動はオペレータにとって大きな身体的負担となります。快適な乗り心地のためには必要な要素です。

——ブリヂストンのゴムクローラのどのようなところをご評価いただいているのでしょうか？

宮城 振動低減と耐久性は、相反する面もあるんですが、ブリヂストンのゴムクローラは高いレベルでそれらを両立しています。ブリヂストンの皆さんは豊富なノウハウをベースに、優れた製品を開発してくれるイメージがありますね。

種市 ゴムクローラを構成する部材にも強みを持っていると感じます。例えば芯金は小さくても十分な強度を保っています。スチールコードも細くても耐久力があり、クローラ周辺のスペースが広くなくても組み付けられるので設計上の選択肢が広がります。

秦 2023年に上市した「SVL75-3」というCTLの開発を担当しました。ゴムクローラについては、耐久性と、屈曲抵抗低減という相反する性能の両立が必要でした。形状はもちろん、ゴムの材料も複数検討して提案いただけたおかげで、満足できる性能を実現でき



(左から) (株)クボタとブリヂストン化工品ジャパン(株)の皆さん

ました。開発期間中はブリヂストンのクローラ開発担当の方が入れ替わりで4年程、関西に長期駐在してくださって、対面の打ち合わせを積み重ねることができたので、スピーディーな開発が実現しました。

名手 CTLにおいては今後需要が急拡大し、当社も2030年までに現在の1.7倍まで供給を伸ばすつもりです。こういった需要の拡大に対して、引き続き安定した供給をしていただけのものと期待しています。

宮城 もう1つ強調したいのが、市場で確立された圧倒的なブランド力です。「フラッグシップの機械にふさわしいゴムクローラはブリヂストンだね」という声はお客様からも多く聞きますね。

ゴムクローラは機械への信頼に直結する重要なパーツ

——最後に、ブリヂストングループの皆さんにメッセージをお願いします！

名手 さまざまな依頼にスピーディーに対

(株)クボタ グローバル技術研究所

グローバル研究開発体制の連携推進および製品開発や先端技術開発の強化を目的に2022年に大阪府堺市に設立。約34.6万㎡の敷地内にテストコースや実験場をはじめ、24時間連続自動運転可能な試験装置を新設・増設して研究開発を効率化させる国内最大の開発拠点です。



1960年に発売された生産第1号クボトラクター(T-15形)。そのタイヤもブリヂストン製

応いただき、問題が起きた際も一緒に解決に向けて真摯に対応いただいています。今後ともよろしくお願いします。

宮城 新しい製品開発の際は、常に現場まで足を運んでいただき、使用環境を確認していただいています。これからも現物現場主義を大切に、開発を進めていただければ幸いです。

種市 昨年は熊本工場に伺い、クローラ製造について学ばせていただきました。また、当社の台湾のお客様向けの試作機械のテストでも協働いただいています。

クボタ様を担当する営業の皆さん



ブリヂストン化工品ジャパン(株) 農機ソリューション営業部
農機直需営業1課 北村 公彦さん
農機直需営業1課長 志岐 俊典さん
農機直需営業2課 大坪 愛さん

皆さんのコメント

率直なご評価の声をいただきありがとうございます。クボタ様は、常に進化を求め、挑戦続けている大切なお客様です。これからも伴走してまいりますのでよろしくお願いいたします！

師匠と弟子



新たな領域に挑戦してほしい

トータル力を活かして

より良いシステム開発を目指します！

タイヤの知識は組織一の牛嶋さんから学びながら、



豊富な知識と人脈でタイヤづくりを支えるITの最強タッグ

ブリヂストンソフトウェア(株) 製品開発システム部 技術システム3課

ブリヂストングループ唯一の情報システム専門会社として、ITを通じてグループ各社を支えているブリヂストンソフトウェア。製品開発システム部は、タイヤ設計に関わるシステムの開発・保守を担っています。今回の「師匠と弟子」では、入社時からシステム開発に携わり、リーダーとしてグループをけん引する牛嶋 寿永さんと、2016年以来牛嶋さんのもとで尽力する福島 俊幸さんに、業務の内容とやりがいについて伺いました。

福島 2007年にキャリア採用で入社しましたが、前職でもシステム開発を担当していました。入社後はイントラサイトであるONE-Bや、人事・経理関係のシステムを担当、2016年から牛嶋さんのもとで働き始めました。元々社内でも「何でも知っている生え抜きのシステムエンジニア」と噂されていた牛嶋さんですが、実際に一緒に仕事をしてみてその人望の厚さを実感。とにかくタイヤに関する知識は社内でも随一ですし、人脈も広い！ 業

務外のこともたくさん雑談してくれるので、とにかく一緒に仕事をしていて楽しいです。
牛嶋 確かに、リモートでも対面でも毎日必ず話しているね。福島さんと一緒に仕事をし、もう10年が経つのか……。ここまで長く一緒に仕事をする関係って社内でもなかなか珍しいよね。
福島 技術システム3課の中でも私たちプロセスグループが担当するのは、タイヤに表記される文字の表示内容を定義する「文字図依頼書

システム」と呼ばれるシステムの開発・保守。私たちが作ったシステムが、タイヤを開発する皆さんの仕事のしやすさに直結すると考えると背筋が伸びます。タイヤ上の文字の表示1つ取っても、満たさなければいけない法律や規格、社内ルールがたくさんあります。さらに、輸出先それぞれの国の法規も踏まえてシステムに反映しなければならず、数百以上も存在する表示項目のルールをシステムに埋め込むのはなかなか大変です。当然、国の法律



ブリヂストンソフトウェア(株)
製品開発システム部
技術システム3課 プロセスグループリーダー
牛嶋 寿永さん (1993年入社)

師匠 × 弟子

や規格は日々変化しているので、その情報をキャッチアップする必要があります。
牛嶋 そうだね。私たちが扱うシステムはブリヂストンの数百名を超えるタイヤ製品開発に関わる皆さんが使うもの。法律にも関わるため、不具合を起こしてしまうとリコールや生産停止にもなってしまうから慎重さが求められるよね。システムは24時間稼働しているので、深夜にシステム不具合の連絡が来ることも……。そんな時でも福島さんは率先して対応してくれるから頼もしいよ。

福島 最近だと、システム保守だけでなくタイヤの材料であるゴムの管理システム構築という新しい領域にも一緒に挑戦しましたね。
牛嶋 材料分野のシステム開発は初めてで、0から学ぶ必要があったから大変だったね。大規模な案件だったこともあり、ユーザーであるタイヤ生産技術開発担当の皆さんと打ち合わせを重ねながら2年近くかけて完成させたのは感慨深いよ。国内およびアジアの工場ごとのゴム保有状況や、タイヤの種類・スベックごとに使用しているゴムの種類を一元管理できる「コンパウンドマネジメントシステム(CMT)」」。これまでExcelで管理していたものをシステム化することで、ゴムの保有状況を見る化し、使用状況の検索効率化にも貢献することができたね。

福島 当時の製品開発管掌における最高賞、B賞(Bridgestone賞)も頂きましたね。これだけ大規模な案件をトラブルなく進んできたのは牛嶋さんのマネジメント力があってこそ。困ったことがあっても相談もし

やすいですし、常に仕事をしやすい環境をつくってくれるのでとても助かっています。
牛嶋 リーダーとして、対話を大切にしているんだ。その人の個性や人柄を見ることができるから、話しかけにくい雰囲気だけは絶対に出さないようにしているかも(笑)。僕もよく福島さんを頼ってしまいうけれど、一度教えたことは絶対に忘れないよね。
福島 一度聞いたことは二度聞いてしまうことがないよう、これまで質問したことや教えてもらったことをExcelにまとめています。システム管理という業務の性質上、夜間や休み期間中など、誰かに聞きたくてもすぐには聞けないことも。どんな状況でもすぐに行動できるように、また自分の引き出しを増やすという意味でも書き溜めているんです。かれこれメモは1,000行を超えてしまいました……。

牛嶋 さすが……。福島さんはプログラミング、データベース、クラウド、サーバー関係など幅広いIT分野をトータルでまとめ上げる力は抜群。その裏には常に向上心と努力があるのだらうね。そのトータル力を活かして、どんどん新たな領域に挑戦してもらいたいよ。「ブリヂストングループ唯一のIT会社」として、システム関係のことは何でも気軽に相談してもらえ組織になりたいね。
福島 そうですね。今後はユーザーの困りごとを自分が主体となって解決できるようなシステム開発を目指します！そしてブリヂストンに関わる従業員の仕事の効率化や製品の質向上に貢献したいですね。

ブリヂストンソフトウェア(株)
製品開発システム部
技術システム3課
福島 俊幸さん (2007年入社)



「福島さんと同じ時期に通った教習所で二輪の免許を取りました」と牛嶋さん。「夏に2人で汗だくになりながら立川までラーメンを食べに行ったのもいい思い出です」と福島さん



CMTプロジェクトがB賞を受賞した時のユーザーさん(右から、ECM IT基盤1課の上川さん、成型生産技術新設立上げ効率推進課の上西さん)との1枚。「今でも大切に取ってあります」とお2人



「いつも話しやすい雰囲気牛嶋さん、一緒に仕事をするのが楽しいです」と福島さん。「あいまいな要求にも的確に対応してくれる福島さんはまさにITの賢者だね」と牛嶋さん



Republic of Indonesia

世界のブリヂストンの チームメイト

グローバルで活躍する
ブリヂストンのチームメイトにフォーカス！
海外だからこそのやりがいや難しさ、
その国ならではの最新情報などを
お届けします！

BRIDGESTONE KALIMANTAN PLANTATION (BSKP)

ブリヂストン カリマンタン プランテーション

From teammates

お客様のニーズと向き合い、トレーサブルでサステナブルな天然ゴムを供給していきます



President Director
堀田 恒久さん

天然ゴム農園全体の運営を担っています。お客様のニーズ、課題・困りごとに耳を傾け、苗木の育成から植林、幼木の育成、収穫、生産の最適化・改善活動をチーム全体で進め、社内外の関係者とCFI[®]で、必要な仕様・品質で必要な量を必要な時に供給できるよう、チームをリードしています。天然ゴムの生産・販売、および地域貢献活動を通じ、ステークホルダー、お客様の価値向上を進め、また近隣の皆様にも愛される農園づくりを進めています。

※組織を横断してチームを編成すること

Q 海外ならではのやりがいや、大変なことはありますか？

タイヤの主要原料であり、希少価値のある天然ゴムを、この広大な農園で現物現場でチームメイトと苦楽を共にしながら生産・供給し、社会に貢献できることは非常にやりがいを感じます。近隣の都市から遠く離れた農園で、歴史、文化、食事、生活慣習、作法などが日本と異なるため最初は戸惑うこともありましたが、新しいことへの興味や挑戦に楽しさを感じています。「困ったときはお互いさま」という文化があり、従業員、家族、地域の皆様から常に支えられ、日々感謝しています。

Q 今後の目標を教えてください！

お客様のご要望・困りごとに向き合い、植林の推進やゴム林の健全な育成を含め、トレーサブルでサステナブルな天然ゴムを生産・供給するべく、植林プロジェクト・増産プロジェクト・トレーサブルプロジェクトなどを進めていきます。今後もお客様のさらなるニーズに応えられるよう、人財育成、品質経営、植林・農園技術、生産技術、運営管理技術などに取り組み、絶え間ない成長を目指していきます。

6,000haの広さを持つ天然ゴム農園と、タイヤの主要原材料であるシート状のゴム「リブ付きスモークシート（RSS）」を生産する工場を運営しているBSKP。天然ゴムの木をタッピング（木の樹皮を削って樹液を採取すること）し、採取されたラテックス（樹液）からつくられるRSSは、異物がなく、トレーサビリティも確保されています。BSKPは高品質なRSSを製造することで、タイヤの生産を支えています。

Country information



国 名：インドネシア共和国
公 用 語：インドネシア語
首 都：ジャカルタ
人 口：約2億7,900万人
(2023年時点、
出典：インドネシア政府統計)



国・地域の名産品・名物スポット

BSKPのある南カリマンタン州は、1990年代までジャワ島などからの人口移転政策が行われていたため、当地のみならずさまざまな地域のおいしい食べ物が楽しめます。そのなかでも、「ソトバンジャール」（「ソト」はスープ、「バンジャール」は地名）は、当地で人気の郷土料理です。チキン、アヒルの卵、ニンジンなどで作ったあっさりスープに麺を入れた料理で、ご飯を入れて食べることもあります。また、お隣の島・スラウェシ島のおいしい郷土料理「スラウェシ ナシゴレン」は、少し辛いのが特徴。ジャワ島中部地域の伝統料理「ゲデック」は、チキン、卵、豆腐などをココナッツミルクとしょうゆなどで煮込んだもので、甘辛く濃厚なソースで深みのある味が楽しめます。



左からソトバンジャール、スラウェシ ナシゴレン

拠点で取り入れている取り組み

昨年からは荒地植林プロジェクトがスタートしました。BSKP、農家、地元政府、当地の大学からメンバーが集い、地域の荒地（鉱山開発、火災などで樹木が消失したエリア）での土地整備や植林訓練を進め、天然ゴムや果物の採取・収穫にもつながる、農業と林業を組み合わせたアグロフォレストリーを進めています。植林により、持続可能なCO₂削減の推進、また、収穫による地域住民の収入と生活基盤の安定化の推進などを通じ、地域貢献を進めています。



植林プロジェクトを行う荒地



プロジェクト発足時の、農家の方々とのセレモニー

またインドネシアでは、8月17日の独立記念日に大都市から小さな町村部まで祝賀行事や運動会などが開催されています。BSKPでも毎年イベントを行っており、各地域の郷土料理をふるまったり、タッピング競技会や運動会などを実施したりしています。自然豊かな環境、歴史あるユニークな文化、貴重な人材を輩出されているこの地域に対して感謝をし、従業員・ご家族・地域の皆様をご招待しています。



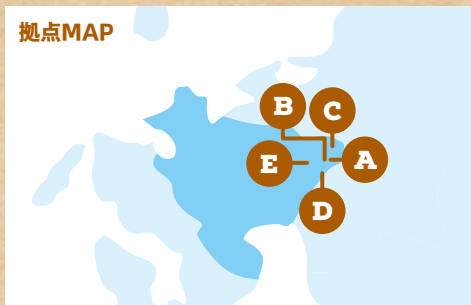
イベントでの運動会、タッピング競技会の様子



今回は、「几帳面だ」「礼儀正しい」「ストイックだ」「地域の消防団員がいる」が県民の特徴と言われる佐賀県をご紹介します！事業所独自の特徴も1つ加えてレーダーチャートにし、どのくらい当てはまるかを回答いただきました！

※佐賀県は「人口千人あたりの消防団員数」全国1位です（総務省消防庁「消防白書」）

〔県民性に当てはまることを推奨するものではありません。気軽に楽しみください（参考資料：祖父江孝男「県民性の人間学」ちくま文庫）〕



A

(株)ブリヂストン 鳥栖工場

住 所 佐賀県鳥栖市轟木町1000
従業員数 800人

紹介者

製造第2課 第1成型係の
妻夫木 亮次さん（前列中央）

事業・業務内容

高性能・高付加価値タイヤをグロ
バルに供給

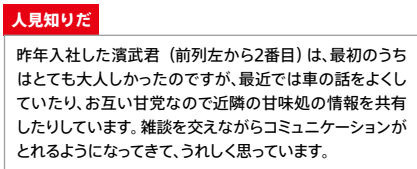
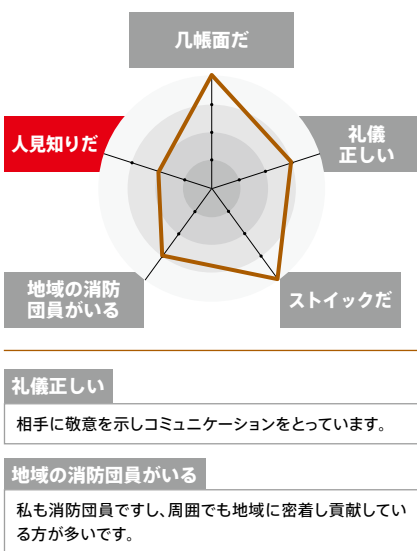
今後の目標

20インチ以上の高インチタイヤを中
心としたプレミアムタイヤのさらなる
商品競争力強化に向け、BCMAに基
づき、モノづくりの本質を追求し、「断
トツ」の品質・供給・原価を実現し
ていきます！



モータースポーツ用タイヤの製造に携わる皆さん

プレミアムタイヤを
グローバルに供給します！



B

ブリヂストンサイクル(株) 西日本営業部 九州営業所

住 所 佐賀県鳥栖市幸津町1500
従業員数 6人

紹介者

セールスの緒方 紀彦さん（前列右）

事業・業務内容

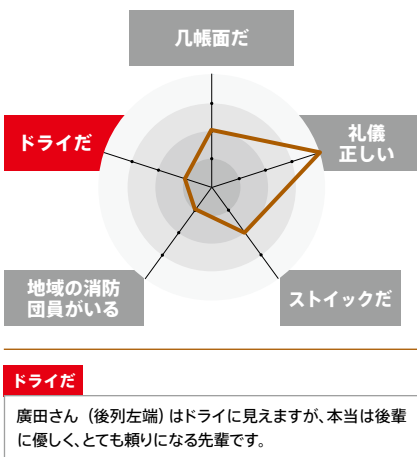
自転車、電動アシスト自転車、
関連商品の卸販売

今後の目標

販売店の皆様との信頼関係を大
切に、売上No.1の営業所を目指
します！



皆様との信頼関係を大切に



C

ブリヂストンスポーツセールスジャパン(株) ブリヂストンゴルフプラザ鳥栖

住 所 佐賀県鳥栖市弥生が丘8-1
従業員数 9人

紹介者

店長の横山 輝幸さん（右下の写真）

事業・業務内容

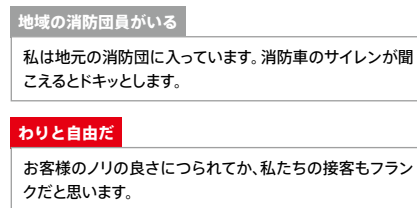
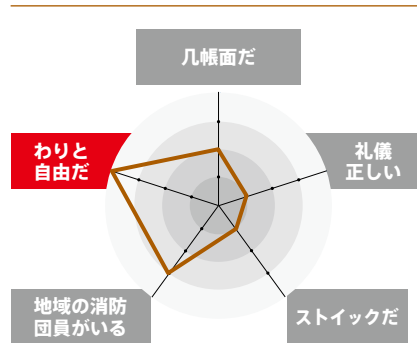
ゴルフ用品の販売

今後の目標

鳥栖プレミアム・アウトレット内のゴルフショップで、No.1を目指します！



No.1のゴルフショップを目指します



D

ブリヂストン物流(株) 九州倉庫

住 所 佐賀県三養基郡みやき町大字江口5000
従業員数 36人

紹介者

所長の上永 薫さん（最前列左端）

事業・業務内容

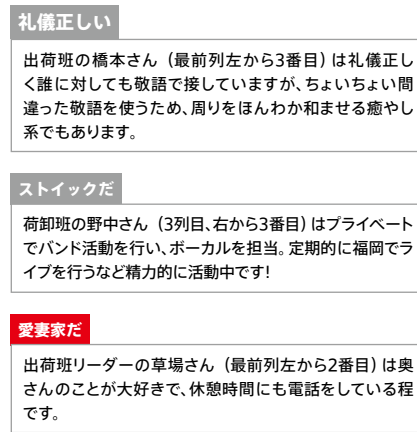
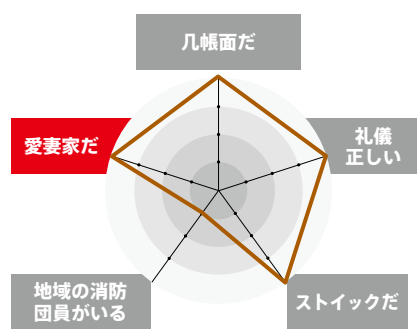
タイヤの入出荷・配送

今後の目標

お客様クレームZDの継続と、完全無災害を目指します。



目指せ完全無災害！



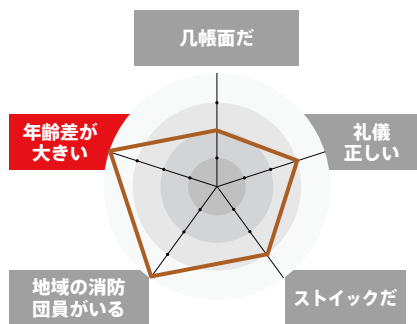
紹介者 製造第1課長の野下 貴光さん（右端）

事業・業務内容 スチールコードの製造

今後の目標 国内唯一のスチールコード工場として、タイヤ工場から信頼され、「さすがブリヂストンですね!」と言われるよう、最高の品質で社会に貢献していきます!

スチールコードで
「最高の品質で社会に貢献」していきます!

製造第1課の皆さん。昨年リニューアルされた製造課事務所内のカフェテリアにて



年齢差が大きい

近年世代交代を迎えている私たちの職場は、ジェネレーションギャップが激しく……多様性を尊重しつつ、お互いを理解し合えるよう頑張っています。

通信員

(株)ブリヂストン 佐賀工場 総務・環境保全課
木村 薫さん

常に心はオープンに、謙虚な気持ちと前傾姿勢のコミュニケーションを心掛け、お客様への目配り、気配り、心配りの質を高めていきます!



私たちがオススメします!

行ってみて!
&
食べてみて!グループ従業員の皆さんに、
県内のお勧め観光スポット&グルメを
教えてもらいました!

写真提供：佐賀県観光連盟

佐賀国際ナショナルバルーンフェスタ



毎年10月下旬から11月上旬にかけて、佐賀市嘉瀬川河川敷を主会場として開催される、アジア最大級の国際熱気球大会です。日本国内、世界各国から100機を超える熱気球が参加しています。バルーンの操縦力を競う競技や、夜空にバルーンが浮かぶ幻想的な「夜間係留」が開催される他、動物やキャラクターなどをモチーフにしたバルーンが河川敷を彩る「バルーンファンタジア」は子どもたちに大人気です。

from ブリヂストン物流(株)
九州倉庫
上永さん

フォレストアドベンチャー・吉野ヶ里



森の自然をそのまま活用したアウトドアパークで、子どもから大人まで、さまざまなアクティビティが楽しめます! 高速のインターチェンジからも10分程でアクセスも抜群です。

from (株)ブリヂストン
鳥栖工場
妻夫木さん

宝当神社



その名にあやかり、宝くじが当たる神社として一躍有名になりました。現在では全国から年間20万人もの参拝者が訪れるそうです。一攫千金狙ってみませんか?

from ブリヂストンスポーツセールスジャパン(株)
ブリヂストンゴルフプラザ鳥栖
横山さん

駅前不動産スタジアム



鳥栖市にあるスタジアムで、Jリーグクラブチーム サガン鳥栖の本拠地です。観客席の傾斜が高いためピッチとの距離感が近く、迫力のある試合を楽しむことができます。

from ブリヂストンサイクル(株)
西日本営業部 九州営業所
緒方さん

浜野浦の棚田



玄海町の一角、小さな入り江に面した浜野浦地区の「浜野浦の棚田」。海岸から駆け上がる階段のように、幾重にも連なる棚田が斜面を覆い、自然が描くカーブが絶景です。天候によってもさまざまな景色を映し出します。

from (株)ブリヂストン 佐賀工場
製造第1課長
野下さん

Arrow News Clips

2025.01-03

ブリヂストン アメリカス 2025.1.13~16

ブリヂストンサミットをフェニックスで開催

1月13日～16日、Bridgestone Americas (ブリヂストン アメリカス、以下BSAM) がアメリカ・アリゾナ州のフェニックスで「2025 Bridgestone Summit」(以下、ブリヂストンサミット)を初開催しました。

ブリヂストンサミットは、代理店をはじめとした、消費財・生産財ビジネスのお客様、約500名が一堂に会したイベントで、ブリヂストンが最高の商品、技術、サービスを提供するプレミアムパートナーであることを理解していただくことを目的に開催されました。これまでの成果と将来に向けた取り組みを共有し、ブリヂストンがお客様のビジネスをさらに発展させていくためのパートナーであることを、BSAMメンバーが直接お客様とコミュニケーションを取り、紹介しました。



展示は、ブースを大きく3つに分け、お客様にブリヂストンの歴史について理解いただくための「Who We Are」、ブリヂストンの最先端技術に触れていただく「What We Offer」、そして、地域社会、パートナー、地球環境にどのような形でブリヂストンがサポートしているかをご紹介します「How We Give Back」から構成。ブリヂストンが提供する全ての商品、技術、そしてフリートケアソリューションを体験できる包括的な展示で、参加したお客様からは、ここ数年で最高のイベントであり、ブリヂストンが提供するサービスが分かりやすく紹介されていたとコメントを頂きました。

Web版「Arrow」で随時更新しているニュースや、
各事業所での取り組みをピックアップしてご紹介します。

ブリヂストンの戦略の根幹である「断トツ商品」をコアに「創って売る」から「使う」段階で価値を増幅するという包括的な取り組みがBSAMでは年始から実施されています。グローバルの仲間たちと一緒に、それぞれの持ち場で、生産性・創造性をより強化し、価値創造にフォーカスすることで「強いブリヂストン」へ進化、2026年の「真の次のステージ」へ向けて頑張っていきたいと思います。



「Who We Are」エリア



「What We Offer」エリアでは、これから発売される新商品を含め乗用車用、トラック・バス用、鉱山・建設車両用、農業機械用タイヤの新商品、ENLITEN®技術やフリートケアソリューションの最先端技術を紹介。写真はフリートケアの技術を紹介している様子



「How We Give Back」エリアでは、「Bridgestone E8 Commitment」を用いるとともに、ブリヂストンのモータースポーツ活動が「Passion to Turn the World® (世界を変えていく情熱)」というコンセプトのもとで、サステナビリティを核とした活動に進化していることを紹介



他のニュースもチェック!
Web版「Arrow」

新商品紹介

ブリヂストングループの新商品をご紹介します

ミニバン・コンパクトSUV専用プレミアムブランド商品

「REGNO GR-XIII TYPE RV」

発売日：2025年2月／発売サイズ：29サイズ

ふらつき、走行音、偏摩耗軽減にアプローチ



「REGNO GR-XIII」の空間品質・走行性能を引き継ぎながら、ミニバン・コンパクトSUVのユーザーニーズと車両特徴に合わせたカスタマイズを、商品設計基盤技術ENLITEN®により実現。専用パタンを採用することで、車高の高いミニバンやコンパクトSUV車両特有の走行時のふらつきを抑制し、後部座席での「乗り心地」、安定感のある走りを実現する「ハンドリング性能」、さらに重量車に対応した「耐摩耗性」にエッジを効かせています。従来のミニバンユーザーだけでなく、コンパクトSUVユーザーにも、深みを増した空間品質や磨き抜かれた走行性能といった新たな「REGNO FEELING」の価値をご提供します。

1月25日・26日には、自動車専門誌をはじめとしたメディア向け試乗会を開催。記者の方たちからは、「ミニバンでもレーンチェンジ後のふらつきが少ない」「横風があっても直進安定性があった」「後部座席の乗り心地も満足」などの感想がありました。



キャディバッグ「ツアーモデルシリーズ」

発売日：2025年2月7日／発売カラー：3色

ツアー仕様のレプリカモデル

2025年のツアー開幕より、ブリヂストン契約選手が使用しているキャディバッグのレプリカモデルです。バッグ本体の右サイドにはBマーク、左サイドにはブリヂストンゴルフのロゴを大きくあしらった非対称のデザインで、ツアーモデルらしい重厚感のあるキャディバッグです。持ち運びに便利な口枠部分のハンドルや、担ぐ際の安定性を確保する3点式のショルダーベルト、便利なグローブホルダーなど、プレーヤーの視点に立った機能が搭載されています。



CO (フード：黒×黒) BG (フード：黒×黒) YN (フード：黄×黒) (CO/背面)

トラック・バス用オールシーズンタイヤ「M899」

発売日：2025年3月3日／発売サイズ：4サイズ

リトレッドを含めたトータルでのライフの追求



商品設計基盤技術ENLITEN®をオールシーズンタイヤとして初めて搭載。新品でのライフ性能だけでなく、台タイヤとしての耐久性も高め、リトレッドを含めたトータルでのライフを向上しています。また、耐偏摩耗性・ウェット性能を車型に応じてエッジを効かせることで、お客様の経済性・安全性と環境性能を高次元で実現。さらに、車型ごとの「タイヤの使われ方」や「求められる性能」を考慮し、サイズ別にパタンも最適化しています。

モーターサイクル用プレミアムスポーツツーリングタイヤ

「BATTLAX SPORT TOURING T33」

発売日：2025年2月1日

発売サイズ：10サイズ(2026年以降5サイズ追加予定)

摩耗ライフ47%アップ!



フロント用 リア用

従来品「BATTLAX SPORT TOURING T32」から、ツーリング走行に必要な性能を維持しながら、摩耗ライフを47%向上。新設計のコンパウンドを採用し、トレッドパタンと構造を最適化することで、摩耗ライフの向上と安心感のあるハンドリング性能を両立しています。不安のない長距離ライディングを実現し、ツーリングの楽しみを足元から支えるタイヤです。

「HYDEE.II (ハイディ ツー)」2025年モデル限定カラー

発売日：2025年1月／発売カラー・サイズ：1色・1サイズ

スタイリッシュでおしゃれなハンサムバイク

ファッション & ライフスタイル誌「VERY」とコラボした子ども乗せ電動アシスト自転車「HYDEE.II」から、限定カラー「M.XRシルバー」が登場。ハンサムなデザインと充実した機能が特徴で、夫婦で共用して、おしゃれかつ便利にお使いいただけます。走行中にペダルを止める、または左ブレーキをかけると自動で充電する機能「走りながら自動充電」により、長距離走行も可能です。



ありがとうの気持ち *Thank You!*

ブリヂストングループの仲間への感謝の気持ちを、リレー形式で紹介します。

バイタリティ溢れる活躍に支えていただきました

キャリア採用後のオリエンテーションで一緒になり、ワイルドで大きな声とバイタリティ溢れる姿が、今でも印象に残っています。

その後は、お互い海外の完成車メーカー (OE) 向けの消費財タイヤ開発に携わり、私は設計として、佐々木さんはブルーピンググラウンドのドライバーとして共に仕事をする期間が続きました。

私が技術サービスとして中国に赴任してからは、OEからの性能要求や現地での実車評価に対応するため、中国への長期出張も年に何度もこなし、献身的にサポートしていただきました。評価の腕前だけではなく、持ち前の高いバイタリティでOEとの良好な関係構築にも貢献していただき、本当に感謝しています。

新天地のアメリカでも間違いなくご活躍されると思いますので、共に頑張っていきましょう。またいつかどこかで一緒にお仕事ができるのを楽しみにしています。



From

普利司通 (中国) 投資有限公司 (BSCN)
OE Technical Service Sec. 2
Manager

今井 克樹さん



To

Bridgestone Americas Tire Operations
Vehicle Dynamics Evaluation
Lead, Texas Proving Ground Engineer

佐々木 善一さん

感動と刺激を与えていただきました

2015年に久留米工場 加硫係に異動し、後藤さんをはじめとするA班メンバーの皆さんと出会いました。異動して何も分からない状況だった時に、いつも笑顔でさまざまな場面で助けていただきました。

また、後藤さんは当時ブリヂストン吹奏楽団久留米のチーフリーダーをされていました。定期演奏会で初めて演奏を聴いた時、感動したのと同時に、仕事と楽団の活動を両立させ、1つのものをつくり上げるという姿に、大きな衝撃を受けたのを今でも覚えています。この感動と衝撃は間違いなくこれからも、会社生活を送るなかで私を刺激し続けてくれると思います。後藤さんとの出会いには、本当に感謝しかありません。

またいつか、あの頃のように山小屋 (休憩所) で時間を忘れて語り合いましょう。加硫機への生タイヤ供給が遅れない程度に……笑



From

(株)ブリヂストン
鳥栖工場 品質保証課 検査係 主任
彌吉 恭輔さん



To

(株)ブリヂストン
久留米工場 製造第2課 加硫係
後藤 司さん

ご意見紹介

Arrowについて

♥5分ぐらいで各号のまとめ動画を見られるようにしてほしい。

(ペンネーム：げんじょーさん)

♥日本国内の仕事のこのとのみでなく海外の特集や保養所の説明などもありセールス活動でも役立つことがたくさんあるので助かっています。これからもセールス活動のちょっとした話で使えるような情報提供をしていただけるととても助かります。

(ペンネーム：白やぎさん)

編集後記

今号より新編集部員が加入しました!

今号より新たに編集部員となりました! 今、皆さんが知りたい情報をお届けできる、そんなArrowづくりを目指します! インターンシップの取材では、ウクライナ留学生のひた向きな姿勢に刺激を受けました。私も編集部員として気持ちを新たに精一杯頑張ります! (IM)
新メンバーともども、引き続きArrowをよろしくお願いいたします (編集部一同)

Present!
読者プレゼント

インドネシア
グルメセット

※関連記事「当世海外事情」
(P.24 ~ 25)も
ご覧ください



20
名様

ご応募はこちらから

ペーパーレス化に伴い、Webからの応募のみ受け付けとさせていただきます。下のQRコードよりアクセスの上、ご回答ください。

応募締め切り

2025年5月16日 (金)

※回答フォーム専用ページにアクセスします
※アクセス時にIDやパスワードの入力は不要です



ブリヂストンのタイヤが足元を支える

世界のプレステージカー

プレミアムタイヤ事業拡大に向けた取り組みの1つとして、プレステージカーメーカーへのアプローチを強化しているブリヂストン。ランボルギーニやフェラーリ、マセラティ、ポルシェなどに装着され、車両の性能を最大限に引き出す高品質なタイヤを提供することでその足元を支えています。

また新車装着を起点としたマーケティング活動の強化により、ブランド価値向上、新たなプレミアムの創造に貢献しています。

今回ご紹介するのは、ランボルギーニ「Temerario」です。

ランボルギーニの新型 スーパースポーツカー 「Temerario」

イタリアの高級スポーツカーメーカー、ランボルギーニ。そのランボルギーニのハイブリッドハイパフォーマンス EV モデルが「Temerario」です。ツインターボV8エンジンと3基の電気モーターを組み合わせた、ブランド史上初のスーパースポーツカーは、最高出力920CVを誇り、最高速度は343km/hで、わずか2.7秒で100km/hに到達します。

ブリヂストンは「Temerario」の単独サプライヤーとして「POTENZA SPORT」を専用設計しました。ドライ・ウェット両路面でのハンドリング性能および高速走行時のコントロール性能最大化を通して、スポーツ性能を向上させ車両性能を最大限に引き出すことで、「Temerario」の足元を支えています。また、ランボルギーニから技術力と品質が認められ、相互のブランドへの信頼と共感によってグローバルでの「オフィシャルテクニカルパートナー」に認定されており、関係強化が進んでいます。その一環として、東京オートサロン2025のブリヂストンブースにおいて、「Temerario」の日本初となる一般公開を実現しました。他にも試乗会やオンラインレースゲーム「ASPHALT LEGENDS UNITE」でのコラボレーションを通じて、双方のブランド価値向上に向け共同施策・活動を実施しています。



東京オートサロン2025 ブリヂストンブース

タイヤサイズ
フロント：255/35 ZRF20
リア：325/30 ZRF21